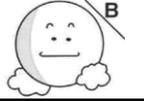
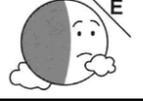


# 板橋区の景況

これは、令和2年6月上旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先の3ヵ月間（令和2年7～9月期）の予想をまとめたものです。

## 令和2年4～6月期

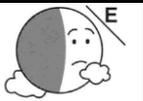
調査対象 製造業 74社 小売業 55社  
 サービス業 51社 建設業 51社  
 調査方法 面接聴取  
 調査機関 (一社) 東京都信用金庫協会  
 分析・作成 (株) 東京商工リサーチ

							
	好調 ←			普通	→ 不調		
製造業	20以上	19～10	9～0	△1～△10	△11～△20	△21～△30	△31以下
小売業	10以上	9～0	△1～△10	△11～△20	△21～△30	△31～△40	△41以下
サービス業	15以上	14～5	4～△5	△6～△15	△16～△25	△26～△35	△36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	△1～△10	△11～△20	△21～△30	△31以下

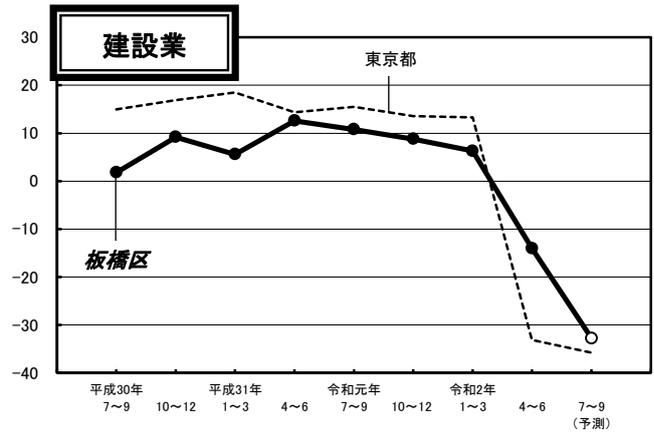
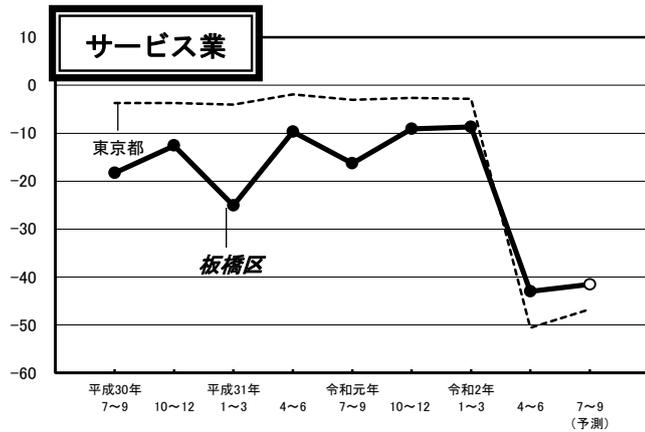
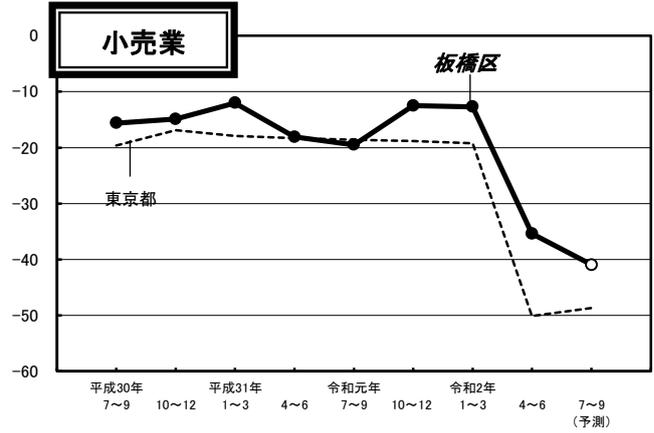
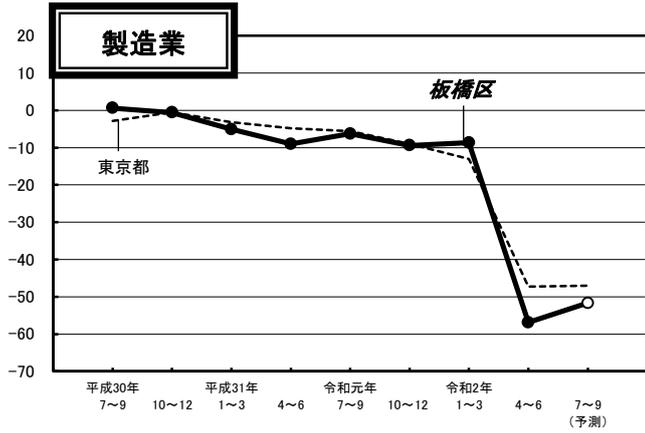
製 造 業	前期		業況は 48.2 ポイント減の-56.9 と極端に低調感が強まり、売上額は 47.9 ポイント減の-55.8、収益は 42.1 ポイント減の-54.2 と、ともに極端に減少幅が拡大した。資金繰りは 25.4 ポイント減の-33.6 と極端に窮屈感が強まった。来期の業況は 5.3 ポイント増の-51.6 とやや厳しさが和らぐとみている。
	今期		
	来期		

小 売 業	前期		業況は 22.7 ポイント減の-35.4 と極端に低調感が強まり、売上額は 25.7 ポイント減の-45.3、収益は 23.1 ポイント減の-39.7 と、ともに極端に減少幅が拡大した。資金繰りは 12.3 ポイント減の-36.9 と大きく窮屈感が強まった。来期の業況は 5.5 ポイント減の-40.9 と大きく低調感が強まるとみている。
	今期		
	来期		

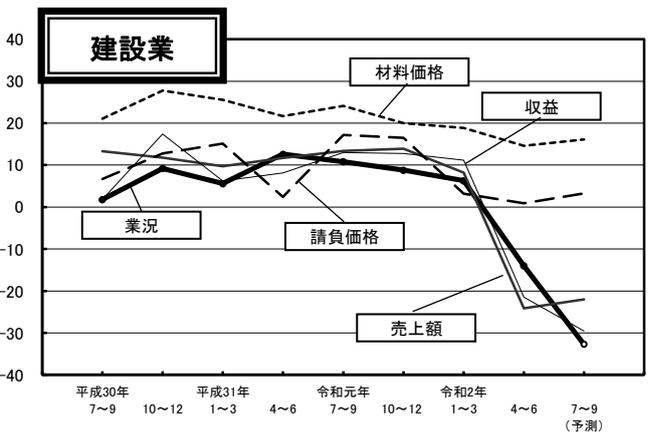
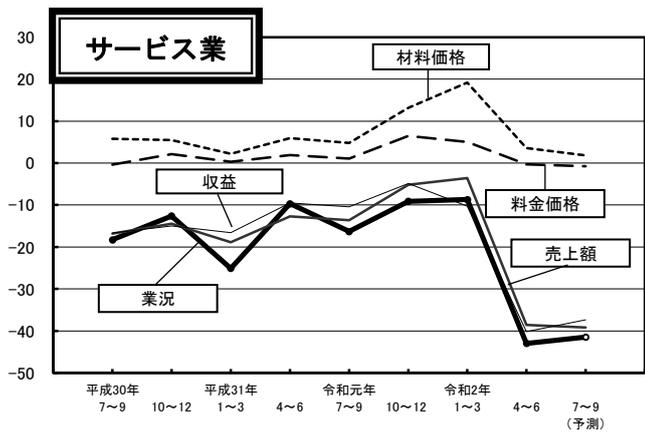
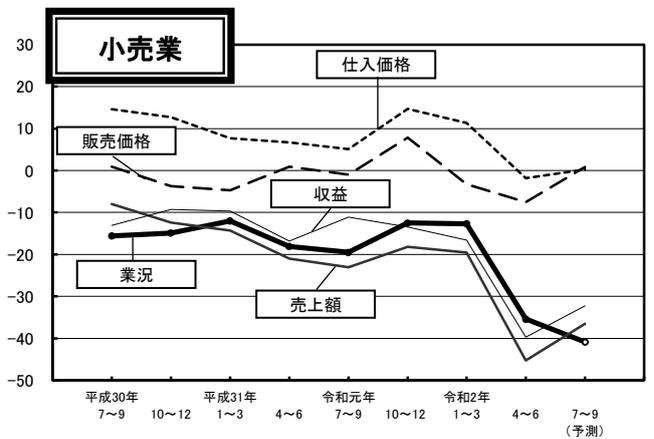
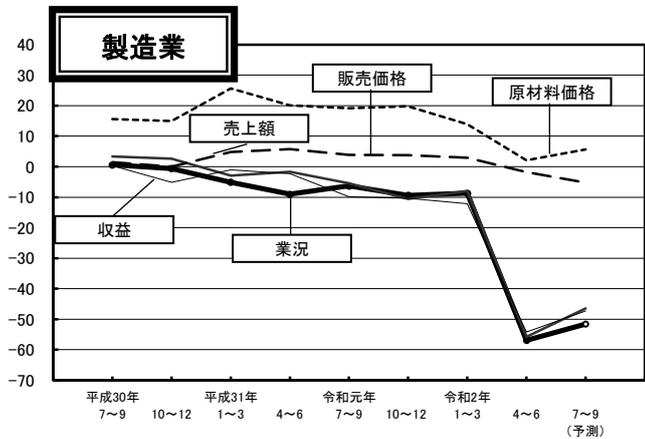
サ ー ビ ス 業	前期		業況は 34.3 ポイント減の-43.0 と極端に低調感が強まり、売上額は 35.0 ポイント減の-38.6、収益は 29.9 ポイント減の-40.2 と、ともに極端に減少幅が拡大した。資金繰りは 20.3 ポイント減の-23.7 と極端に窮屈感が強まった。来期の業況は 1.5 ポイント増の-41.5 とやや厳しさが和らぐとみている。
	今期		
	来期		

建 設 業	前期		業況は 20.3 ポイント減の-14.0 と悪化に転じた。売上額は 32.3 ポイント減の-24.1、収益は 32.7 ポイント減の-21.5 と、ともに増加から減少に転じた。資金繰りは 1.7 ポイント減の-18.2 とやや窮屈感が強まった。来期の業況は 18.7 ポイント減の-32.7 と大きく低調感が強まるとみている。
	今期		
	来期		

# 板橋区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



# 業況と売上額、収益等の動き（実績）と来期の予測



## 板橋区 業種別 経営上の問題点

	製造業	小売業	サービス業	建設業
第1位	売上の停滞・減少 54 %	売上の停滞・減少 62 %	売上の停滞・減少 43 %	売上の停滞・減少 37 %
第2位	同業者間の競争の激化 22 %	大型店との競争の激化 29 % 同業者間の競争の激化 29 %	同業者間の競争の激化 29 %	人手不足 35 %
第3位	利幅の縮小 16 %	商店街の集客力の低下 13 % 利幅の縮小 13 %	店舗・設備の狭小・老朽化 16 %	同業者間の競争の激化 24 %
第4位	工場・機械の狭小・老朽化 11 %	商圏人口の減少 11 %	取引先の減少 12 % 大企業との競争の激化 12 %	下請の確保難 16 %
第5位	販売納入先からの値下げ要請 7 %	人手不足 7 % 天候の不順 7 %	人手不足 8 % 材料価格の上昇 8 % 商圏人口の減少 8 %	天候の不順 14 % 材料価格の上昇 14 %

## 板橋区 業種別 重点経営施策

	製造業	小売業	サービス業	建設業
第1位	経費を節減する 47 %	経費を節減する 62 %	経費を節減する 43 %	経費を節減する 43 %
第2位	販路を広げる 46 %	宣伝・広告を強化する 20 % 品揃えを改善する 20 %	販路を広げる 33 %	人材を確保する 29 % 販路を広げる 29 %
第3位	人材を確保する 19 %	商店街事業を活性化させる 18 %	宣伝・広告を強化する 16 %	情報力を強化する 22 %
第4位	新製品・技術を開発する 18 %	仕入先を開拓・選別する 9 %	人材を確保する 14 %	技術力を高める 18 %
第5位	情報力を強化する 14 %	売れ筋商品を取り扱う 6 %	技術力を強化する 12 %	労働条件を改善する 12 %

## 東京都の景況

### <製造業>

業況はサプライチェーンの寸断による原材料調達の困難、これに伴う生産停止などの影響により急激に悪化した。売上額・受注残・収益ともに減少幅が拡大した。価格面では販売価格は更に下降を強め、原材料価格の上昇傾向も弱まりを見せた。来期の業況は今期並の厳しさが続くと予想している。売上額・受注残・収益については減少・減益幅が若干縮小するも厳しい状況と見ている。

### <小売業>

業況はインバウンド需要の激減、営業自粛、外出制限などで需給が下がり、続いていた厳しさを急速に強めて冷え込んだ。売上額・収益ともに大幅に悪化した。とりわけ飲食店の悪化が顕著であった。価格面では仕入価格の上昇は弱まり収まり感を見せたものの、販売価格が下降に転じ厳しさを強めた。来期の業況は活動自粛・移動制限の解除などで消費活動の戻りを期待するが、低迷が続くと予想している。

### <サービス業>

業況はリーマン・ショック後の2009年10～12月期を下回り、前期に比べ急落した。売上額・収益ともに減少し、予想を大きく上回る落ち込みとなった。急激な売上額の減少が収益を圧迫している様子が見てとれる。価格面では料金価格は上昇から下降へ転じ、材料価格は上昇の高止まりが収まった。来期の業況は急落が下げ止まり、若干の回復が見られると予想している。売上額・収益についても減少・減益幅が縮小すると見ている。

### <建設業>

業況は堅調に推移していたものの大幅に悪化した。売上額・受注残・施工高・収益についても増加傾向から大幅な減少に転じた。価格面では材料価格の上昇が緩やかなものとなったが、請負価格が下降に転じて厳しさを強めた。来期の業況は更に悪化すると予想している。売上額・受注残・施工高・収益ともに減少が続くと見ている。

# 特別調査「新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響について」

## 問1. 新型コロナウイルスによる影響

	営業活動の自粛	展示会、イベント、商談会等の中止・延期	国内消費の不振	インバウンド需要の低下	サプライチェーン寸断により原材料調達困難	出社困難者の発生	店舗や工場等の閉鎖	取引先の閉鎖等の混乱	その他	特に影響はなし	
全体	38.0	10.9	40.5	2.2	5.1	2.6	5.8	12.8	4.7	19.0	
業種	製造業	29.7	14.9	52.7	2.7	5.4	1.4	6.8	16.2	4.1	17.6
	小売業	38.2	10.9	43.6	3.6	1.8	3.6	5.5	16.4	3.6	12.7
	サービス業	45.1	13.7	41.2	3.9	2.0	2.0	5.9	7.8	2.0	19.6
	建設業	40.0	6.0	24.0	-	14.0	2.0	2.0	10.0	8.0	30.0

## 問2. 新型コロナウイルスへの対応策

	生産量・営業時間の縮小	生産量・営業時間の拡大	取引条件の見直し	事業の抜本的見直し	社員の削減（非正規職員を含む）	パートなど非正規社員の勤務時間削減	給与やボーナス、手当の削減	休廃業の検討	その他	特に対応を行っていない	
全体	51.5	2.9	5.1	2.2	0.4	13.5	5.1	4.4	1.1	35.4	
業種	製造業	58.1	1.4	1.4	1.4	1.4	16.2	8.1	4.1	-	32.4
	小売業	50.9	7.3	5.5	5.5	-	12.7	5.5	5.5	1.8	29.1
	サービス業	48.0	-	4.0	-	-	14.0	10.0	8.0	2.0	40.0
	建設業	43.1	5.9	7.8	2.0	-	7.8	-	2.0	-	47.1

## 問3. 今期(4~6月)の売上変化(例年の4~6月比)

	90%以上の減少	70%以上90%未満の減少	50%以上70%未満の減少	30%以上50%未満の減少	10%以上30%未満の減少	ほぼ変化なし(10%未満の増減)	10%以上30%未満の増加	30%以上の増加	
全体	1.8	4.8	5.5	15.4	30.8	34.8	6.2	0.7	
業種	製造業	-	5.5	5.5	9.6	39.7	34.2	2.7	2.7
	小売業	1.8	5.5	7.3	25.5	29.1	25.5	5.5	-
	サービス業	6.0	6.0	6.0	20.0	24.0	32.0	6.0	-
	建設業	-	5.9	3.9	9.8	33.3	39.2	7.8	-

## 問4. 資金繰り支援制度及び政府支援策の利用状況

	資金繰り支援制度					政府支援策					
	すでに利用した	申請中である	今後、利用する可能性がある	今後利用するつもりはない	申請したが、利用できなかった	すでに利用した	申請中である	今後、利用する可能性がある	今後利用するつもりはない	申請したが、利用できなかった	
全体	12.4	11.6	44.0	31.6	0.4	6.2	12.0	49.8	29.8	1.1	
業種	製造業	18.9	13.5	36.5	29.7	1.4	6.8	14.9	40.5	36.5	1.4
	小売業	5.5	9.1	45.5	40.0	-	9.1	14.5	49.1	25.5	-
	サービス業	11.8	7.8	41.2	39.2	-	5.9	9.8	51.0	29.4	2.0
	建設業	7.8	11.8	54.9	25.5	-	2.0	5.9	60.8	31.4	-

## 問5. コロナ影響前の現預金保有と今後の資金繰り

	現預金の保有程度						2020年中の資金繰り				
	売上の3か月以上	売上の1~3か月分	売上の2週間分~1か月分	売上の2週間分未満	ほとんど保有していない	把握していない	不安はない	あまり不安はない	やや不安がある	かなり不安がある	
全体	26.9	44.0	14.5	5.5	2.2	6.2	16.4	23.3	51.3	8.4	
業種	製造業	29.7	40.5	20.3	4.1	1.4	2.7	13.5	29.7	45.9	10.8
	小売業	20.0	36.4	20.0	12.7	-	10.9	14.5	14.5	63.6	7.3
	サービス業	15.7	56.9	9.8	-	5.9	9.8	13.7	23.5	52.9	7.8
	建設業	37.3	37.3	9.8	7.8	2.0	5.9	9.8	29.4	51.0	9.8

この調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

**板橋区 産業経済部 産業振興課**

TEL : 03 (3579) 2172 FAX : 03 (3579) 9756